

製造業は前期に引き続き改善傾向にあるものの、建設業、小売業、サービス業は波に乗れず!

— 2018年1月～3月期 中小企業景況調査報告書概要 —

日銀が4月2日に発表した3月の企業短期経済観測調査(短観)によると、企業の景況感を示す業況判断指数(D・I)は、大企業・製造業でプラス24と、前回より2ポイント悪化した。大企業・製造業の景況感の悪化は実に8四半期ぶりのことである。大企業・非製造業の業況判断指数もプラス23と、こちらも前回より2ポイント悪化となっている。年明け以降の円高や原材料価格の上昇などを背景に景況感の改善が一服し、景気拡大の持続に陰りが見える形となった。

中小企業・製造業の業況判断指数は前回と横ばいのプラス15となっている。中小企業・非製造業は前回のプラス9から1ポイント改善してプラス10となっており、7四半期連続で改善している。

3か月後の先行きの見通し(2018年6月予測)は、大企業・製造業が4ポイント悪化のプラス20、大企業・非製造業も3ポイント悪化のプラス20と予測している。人手不足による収益悪化やトランプ政権の輸入規制などによる貿易摩擦の深刻化も不安視される。中小企業においては、製造業が今期より3ポイント悪化しプラス12、今期改善していた非製造業は5ポイント悪化しプラス5と予測しており、大企業同様、先行きに不安を感じ慎重な見方が多くなっている。

内閣府が3月16日に発表した3月の月例経済報告においては、国内景気は「景気は、緩やかに回復している」という判断を据え置いている。これは1月に「景気は、緩やかな回復基調が続いている」から「景気は、緩やかに回復している」に引き上げたが、先月に引き続き据え置いたものである。3月の月例経済報告では、消費者物価の表現を「横ばいとなっ

ている」から「このところ緩やかに上昇している」と1年7ヶ月ぶりに変更した。個人消費や設備投資といった他の項目については据え置いている。

商工会地域の景況調査においては、今期(2018年1月～3月)の業況に関するD・I値は、製造業が前期より14.8ポイントと大幅に改善し±0.0、建設業は12.4ポイント悪化しマイナス26.1、小売業は6.6ポイント悪化しマイナス48.7、サービス業も4.9ポイント悪化しマイナス22.5となっている。前期は、改善幅にばらつきがあったものの全業種が改善していたが、今期は製造業のみが改善している。建設業は前期の改善分悪化し、小売業は3期連続でマイナス40を下回っている。サービス業は3期連続でマイナス10台をキープしていたが、今期はマイナス20台になってしまった。

来期(2018年4月～6月期)の業況予測については、製造業が今期実績よりも3.3ポイント改善しプラス3.3になると予想。建設業は今期実績より11.8ポイント改善しマイナス14.3、小売業は17.1ポイントと大幅に改善しマイナス31.6と予測しているが、サービス業だけは今期より8.7ポイント悪化しマイナス31.2となっている。

商工会地域の景況感、製造業が4期連続で改善しており、来期も好調を維持する見込みであるが、他の業種については改善の傾向が定着せずに厳しい状況が続いている。中でも、サービス業は、製造業と同じような水準で推移していたのが、今期、来期予測で悪化傾向となり、製造業との間に格差ができてしまっている。

(中小企業診断士 橋本大輔)

業界天気動向図

項目 年月 業種	売上				採算(経常利益)				資金繰り			
	4 H 29 6年	7 9月	10 12月	1 H 30 3年	4 H 29 6年	7 9月	10 12月	1 H 30 3年	4 H 29 6年	7 9月	10 12月	1 H 30 3年
製造業												
建設業												
小売業												
サービス業												

各項目については次により表示した

区分	増加 好転	やや増加 やや好転	横ばい	やや減少 やや悪化	減少 悪化	大幅に減少 非常に悪化
	D・I値(前年同期比)	20.1~	5.1~20.0	5.0~△5.0	△5.1~△20.0	△20.1~△35.0
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点

(数値の左は前期構成比、右は当期構成比を記す)

業種	1位	3位	4位
製造業	1位にあげる問題点 製品ニーズの変化、生産設備の不足・老朽化	3位 需要の停滞生	4位 原材料価格の上昇、製品(加工)単価の低下、 上昇難、熟練技術者の確保難
前期	—	21.9	—
今期	18.2	12.1	9.1
建設業	1位 官公需要の停滞	2位 材料価格の上昇、請負単価の低下、上昇難、民間需要の停滞	5位 従業員の確保難
前期	23.8	—	0.0
今期	23.8	14.3	9.5
小売業	1位 購買力の他地域への流出、需要の停滞	3位 消費者ニーズの変化	4位 大型店・中型店の進出 による競争の激化
前期	—	15.8	10.5
今期	21.1	15.8	13.2
サービス業	1位 需要の停滞	3位 店舗施設の 狭隘・老朽化	4位 材料等 仕入単価の上昇
前期	20.2	6.7	8.9
今期	25.0	13.6	11.4
			5位 従業員の確保難
			13.3
			9.1